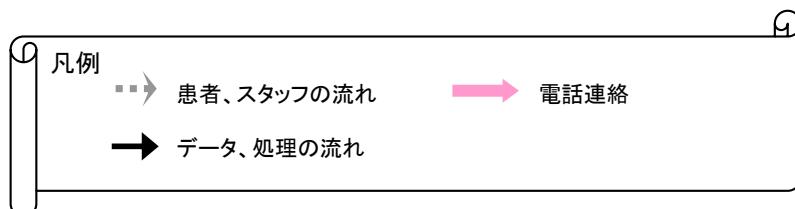
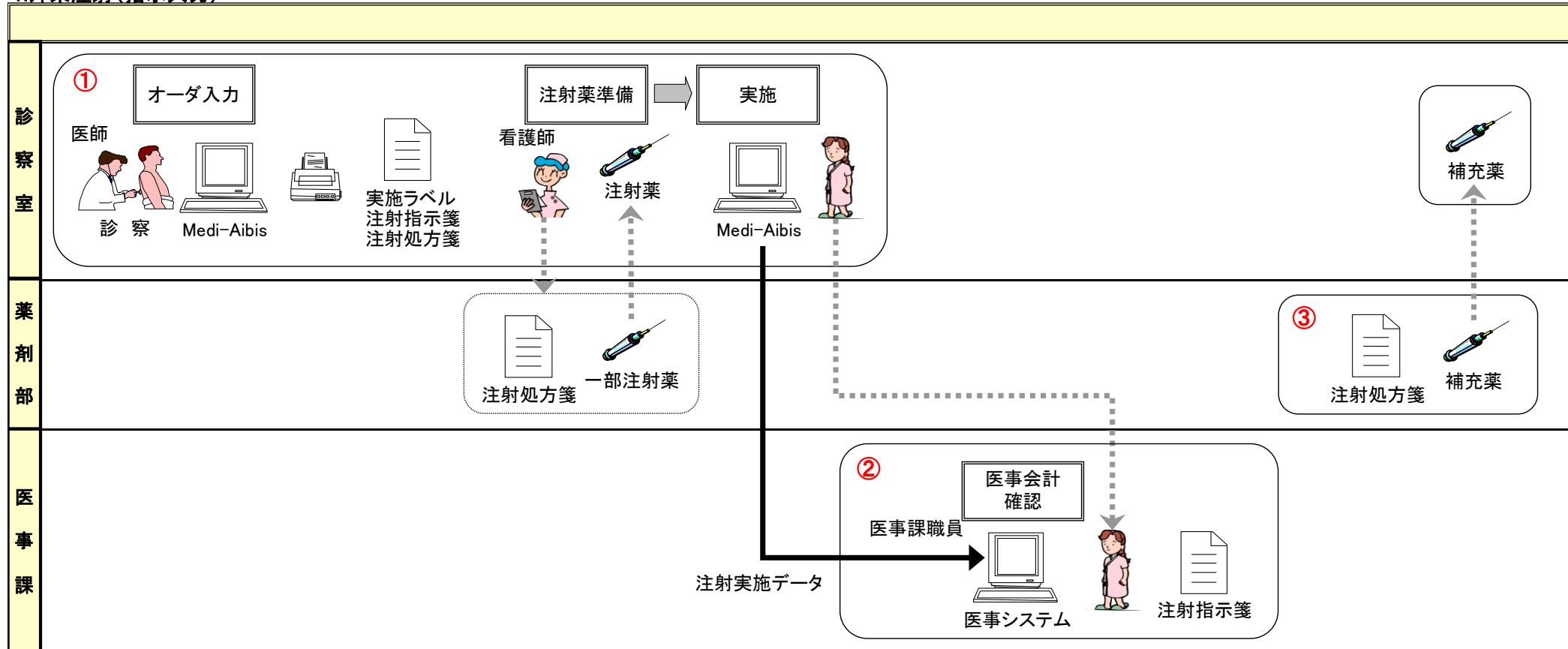


注射 運用フロー

注射業務運用フロー

1.外来注射(指示入力)

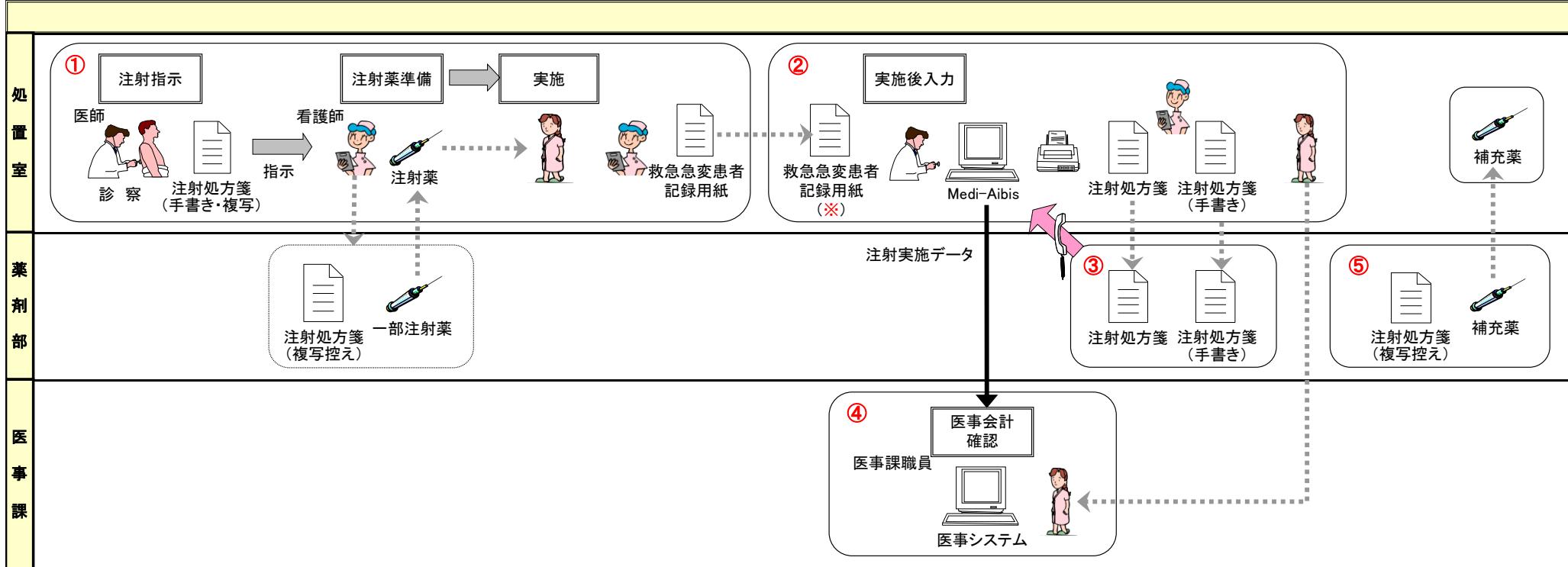


1.外来注射(指示入力)

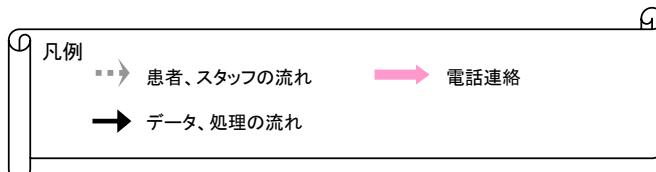
No.	日時・場所	対象者	アクション	システムの機能	備考
1	当日 診察室	医師	注射オーダ入力。	注射オーダ発行 実施ラベル、注射指示箋、 注射処方箋を出力	
		看護師	配置薬にて注射薬の準備を行う。 配置薬で不足があった場合は、 注射処方箋を持って薬剤部へ 取りに行く。		注射処方箋へは、持ち出した薬剤 にマークを付け、補充すべき薬剤が 確認できるようにする。
			注射薬を準備し、3点認証にて 注射の実施を行う。	患者ID、注射実施ラベル、 実施者情報を元に3点認証 →コストとして医事へ送信	外来患者はリストバンドがないため、 注射指示箋などにある患者バーコード で行う。
		患者	注射指示箋が入った会計ファイル を受け取り、会計へ。		
		看護師	注射処方箋を薬剤部へ提出。		
2	医事課	医事課職員	会計情報確認。	オーダからのコストを受信	
3	当日以降 薬剤部	薬剤師	注射処方箋を確認し、 補充作業を行う。		

注射業務運用フロー

2. 外来注射(実施後入力:救急)



※「救急急変患者記録用紙」は、必要に応じてスキャンする。

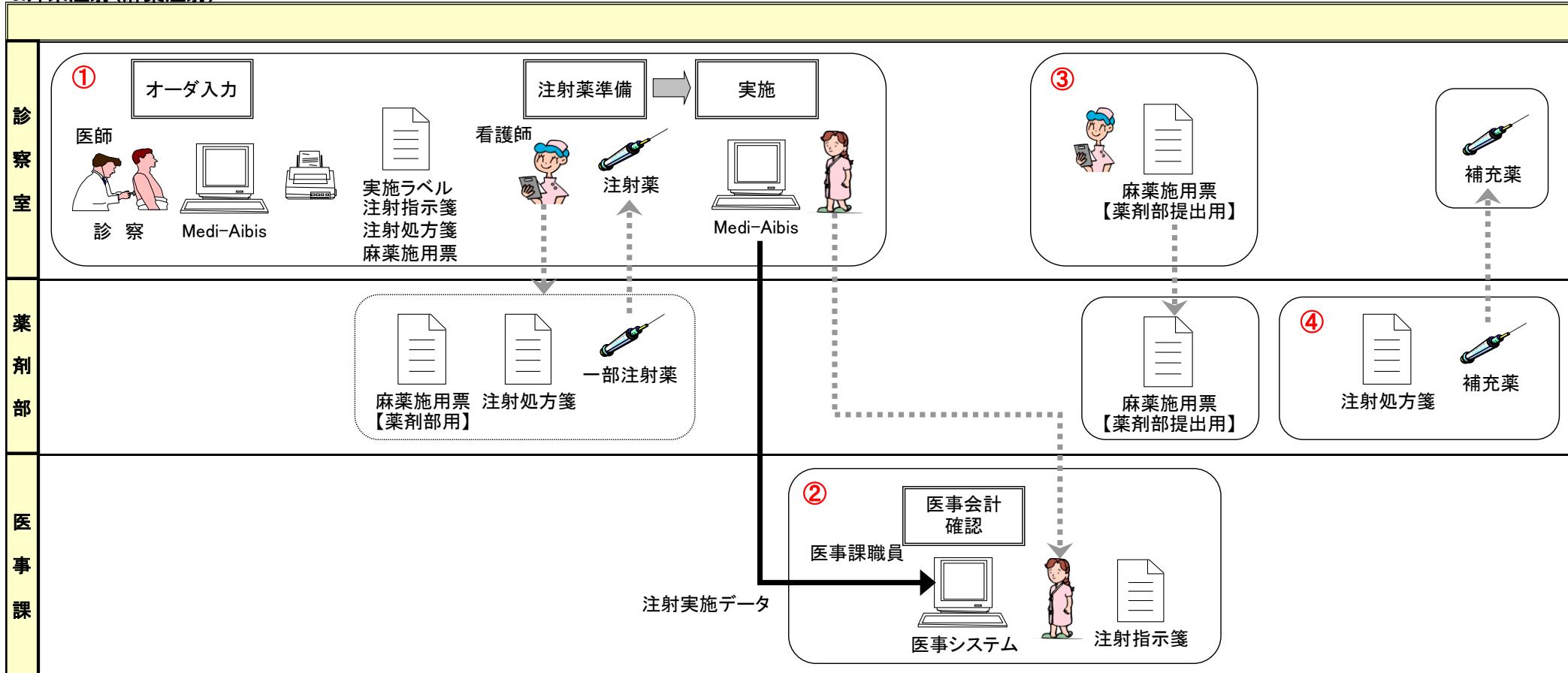


2.外来注射(実施後入力:救急)

No.	日時・場所	対象者	アクション	システムの機能	備考
1	当日 処置室	医師	手書きで注射処方箋(複写用紙)を 記入し、看護師に指示を出す。		
		看護師	配置薬にて注射薬の準備を行う。 配置薬で不足があった場合は、 注射処方箋を持って薬剤部へ 取りに行く。 注射処方箋(複写控え)は薬剤部に 置いていく。	注射処方箋(複写控え)へは、持ち出し た薬剤にマークを付け、補充すべき薬 剤が確認できるようにする。	
			注射実施。		
			手書きで救急急変患者記録用紙を 記入する。		
2	処置室	医師	事後オーダ入力。 救急急変患者記録用紙を必要に 応じてスキャン。	注射オーダ発行 注射処方箋を出力 →コストとして医事へ送信	
		看護師	注射処方箋と注射処方箋(手書き)を 薬剤部へ提出。		
		患者	会計ファイルを受け取り、会計へ。		
3	薬剤部	薬剤師	注射処方箋と注射処方箋(手書き)を 照合し、未提出や内容の誤りがあった 場合は医師に連絡する。 修正が必要で、ロックが掛かっている 場合は解除する。		
	処置室	医師	オーダ入力に誤りがあった場合は 修正し、医事課に連絡する。	注射オーダ修正 注射処方箋を再出力 →コストとして医事へ送信	
4	医事課	医事課職員	会計情報確認。	オーダからのコストを受信	
5	当日以降 薬剤部	薬剤師	注射処方箋(複写控え)を確認し、 補充作業を行う。	薬剤部から持ち出しが無かった場合は オーダ出力の注射処方箋で確認しても 良い。	

注射業務運用フロー

3.外来注射(麻薬注射)



○ 凡例

→ 患者、スタッフの流れ

→ データ、処理の流れ

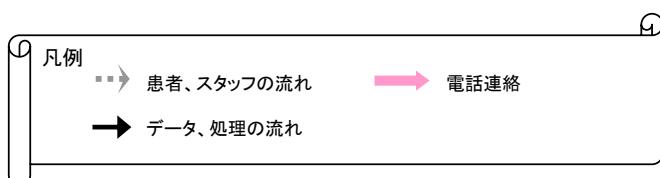
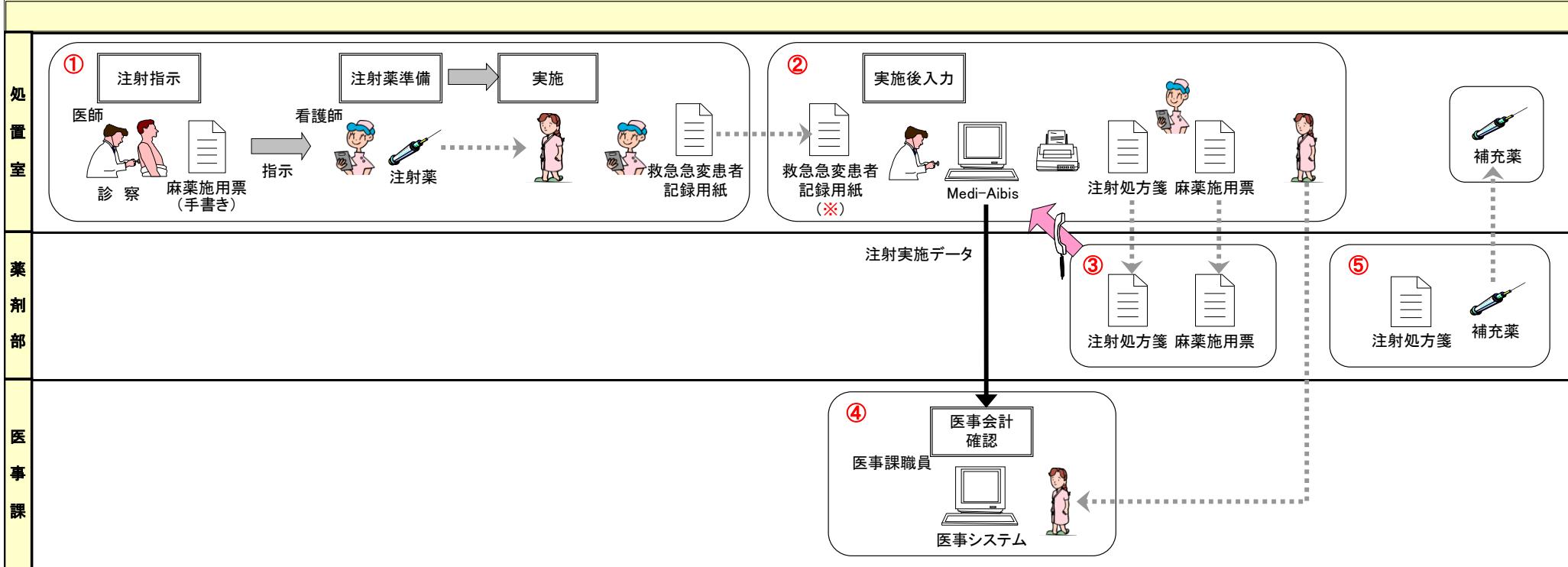
→ 電話連絡

3.外来注射(麻薬注射)

No.	日時・場所	対象者	アクション	システムの機能	備考
1	当日 診察室	医師	注射オーダ入力。 看護師 (配置薬で不足があった場合) 注射薬を準備し、3点認証にて 注射の実施を行う。	注射オーダ発行 実施ラベル、注射指示箋、 注射処方箋、麻薬施用票 を出力 配置薬にて注射薬の準備を行う。 配置薬で不足があった場合は、 注射処方箋と麻薬施用票を持って 薬剤部へ取りに行く。 (配置薬で不足があった場合) 麻薬施用票をミシン線に沿って半分に 切り、片方を麻薬と共に持ち帰る。	注射処方箋へは、持ち出した薬剤 にマークを付け、補充すべき薬剤が 確認できるようにする。 【薬剤部用】を薬剤部に残し、 【薬剤部提出用】を持ち帰る。 外来患者はリストバンドがないため、 実施者情報を元に3点認証 →コストとして医事へ送信 で行う。
		患者	注射指示箋が入った会計ファイル を受け取り、会計へ。		
2	医事課	医事課職員	会計情報確認。	オーダからのコストを受信	
3	診察室	看護師	麻薬施用票を空アンプルと共に 薬剤部へ提出。		薬剤部から持ち出しがあった場合、 【薬剤部用】は既に提出済みなので、 もう一方の【薬剤部提出用】のみを 提出することになる。
4	当日以降 薬剤部	薬剤師	注射処方箋を確認し、 補充作業を行う。 麻薬施用票を管理する。		

注射業務運用フロー

4. 外来注射(麻薬実施後入力: 救急)

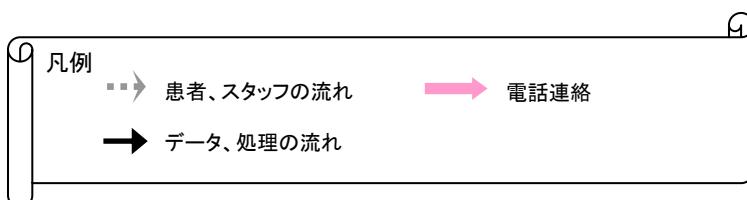
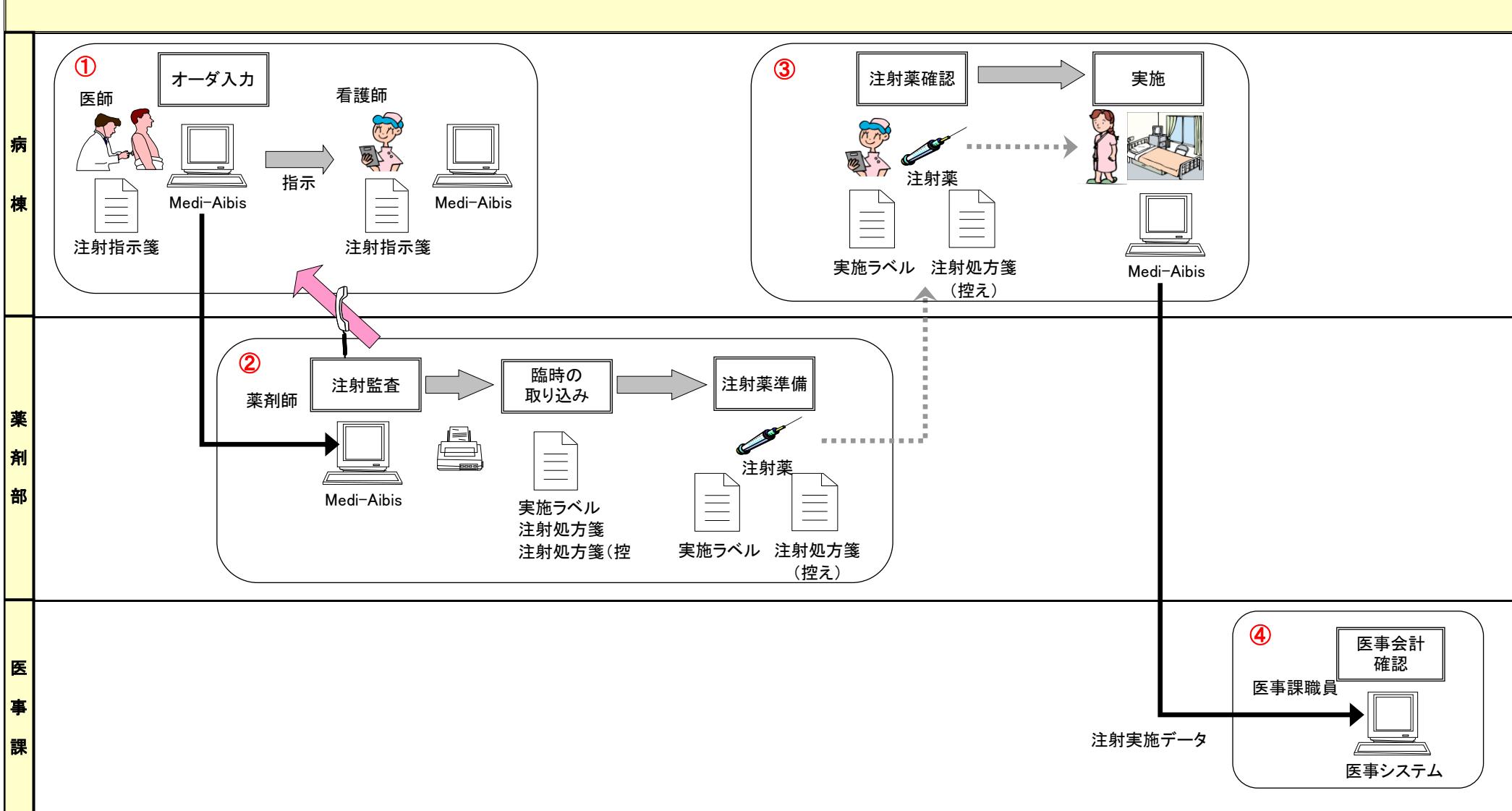


4.外来注射(麻薬実施後入力:救急)

No.	日時・場所	対象者	アクション	システムの機能	備考
1	当日 処置室	医師 看護師	手書きで麻薬施用票を記入し、看護師に指示を出す。 配置薬にて注射薬の準備を行う。 注射実施。		
			手書きで救急急変患者記録用紙を記入する。		
2	処置室	医師	事後オーダ入力。 救急急変患者記録用紙を必要に応じてスキャン。	注射オーダ発行 注射処方箋、麻薬施用票を出力 →コストとして医事へ送信	
		看護師	注射処方箋と麻薬施用票を空アンプルと共に薬剤部へ提出。		
		患者	会計ファイルを受け取り、会計へ。		
3	薬剤部	薬剤師	麻薬施用票と空アンプルを照合し、未提出や内容の誤りがあった場合は医師に連絡する。 修正が必要で、ロックが掛かっている場合は解除する。		
	処置室	医師	オーダ入力に誤りがあった場合は修正し、医事課に連絡する。	注射オーダ修正 注射処方箋、麻薬施用票を再出力 →コストとして医事へ送信	
4	医事課	医事課職員	会計情報確認。	オーダからのコストを受信	
5	当日以降 薬剤部	薬剤師	注射処方箋を確認し、補充作業を行う。		

注射業務運用フロー

5.入院注射(薬剤部準備)

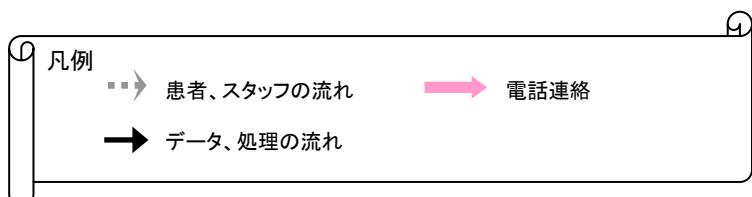
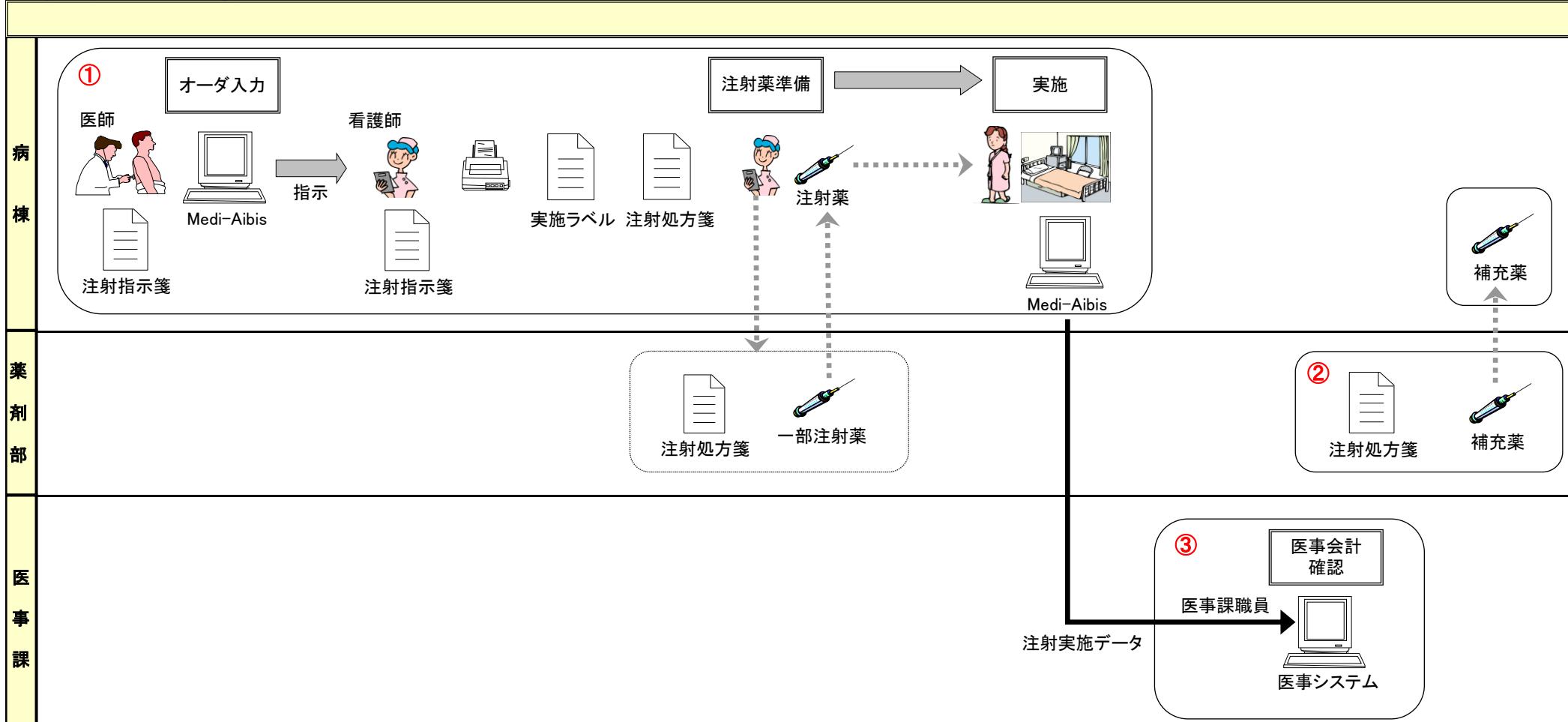


5.入院注射(薬剤部準備)

No.	日時・場所	対象者	アクション	システムの機能	備考
1	病棟	医師	注射オーダ入力。 看護師へ指示。	注射オーダ発行 注射指示箋を出力 →注射連携システムへ送信	
2	薬剤部	薬剤師	オーダ内容確認。 →内容に問題がある場合は医師へ連絡する。 注射連携システムで入院注射を取り込む。 注射薬準備。		医師が対応不可能な場合は、医師に確認した上で薬剤師がオーダの修正を行う。
3	病棟	看護師	注射薬確認及び実施準備。 注射実施。		薬剤部より搬送した注射薬を実施ラベル及び注射処方箋(控え)で確認する。 リストバンド、実施ラベル、ユーザカードを元に3点認証 →コストとして医事へ送信
4	医事課	医事課職員	会計情報確認。	オーダからのコストを受信	

注射業務運用フロー

6.入院注射(スタンダード使用)

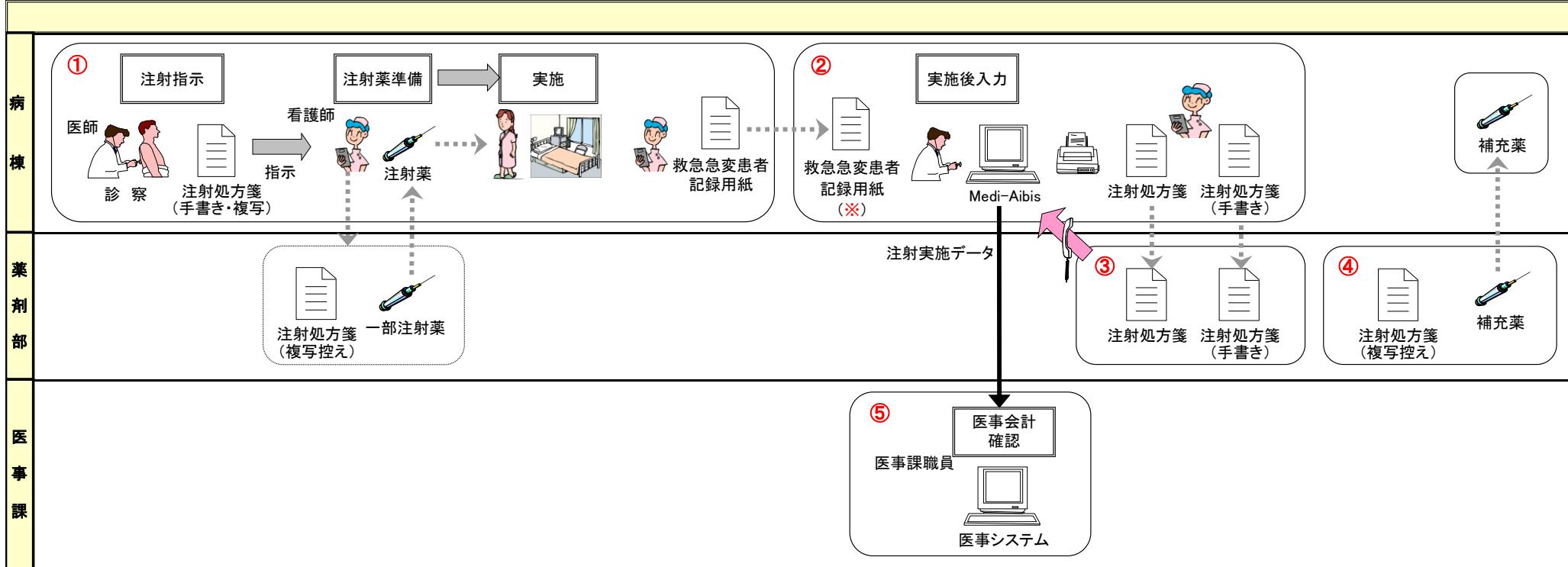


6.入院注射(スタンダード使用)

No.	日時・場所	対象者	アクション	システムの機能	備考
1	病棟	医師	注射オーダ入力。 看護師へ指示。	注射オーダ発行 注射指示箋を出力	
		看護師	配置薬にて注射薬の準備を行う。 配置薬で不足があった場合は、 注射処方箋を持って薬剤部へ 取りに行く。	注射取り込み機能 →実施ラベル、注射処方箋 を出力	注射処方箋へは、持ち出した薬剤 にマークを付け、補充すべき薬剤が 確認できるようにする。
			注射実施。	リストバンド、実施ラベル、 ユーザカードを元に3点認証 →コストとして医事へ送信	
			注射処方箋を薬剤部へ提出。		
2	当日以降				
	薬剤部	薬剤師	注射処方箋を確認し、 補充作業を行う。		
3	医事課	医事課職員	会計情報確認。	オーダからのコストを受信	

注射業務運用フロー

7.入院注射(実施後入力:急変患者)



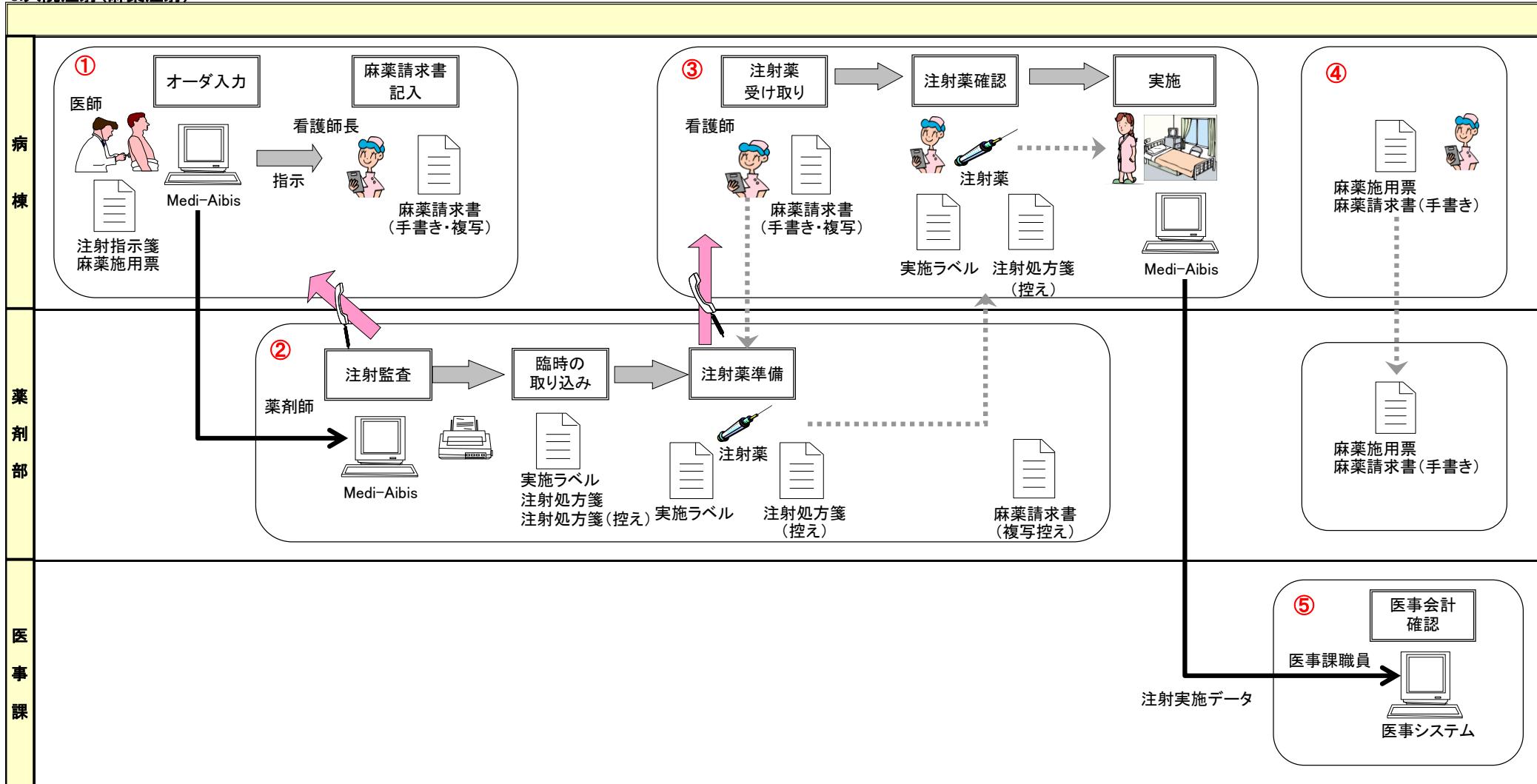
※「救急急変患者記録用紙」は、必要に応じてスキャンする。



7.入院注射(実施後入力:急変患者)

No.	日時・場所	対象者	アクション	システムの機能	備考
1	当日				
	病棟	医師	手書きで注射処方箋(複写用紙)を記入し、看護師に指示を出す。		
		看護師	配置薬にて注射薬の準備を行う。 配置薬で不足があった場合は、注射処方箋を持って薬剤部へ取りに行く。 注射処方箋(複写控え)は薬剤部に置いていく。 注射実施。	注射処方箋(複写控え)へは、持ち出した薬剤にマークを付け、補充すべき薬剤が確認できるようにする。	
			手書きで救急急変患者記録用紙を記入する。		
2	当日以降				
	病棟	医師	事後オーダ入力。 救急急変患者記録用紙を必要に応じてスキャン。	注射オーダ発行 注射処方箋を出力 →コストとして医事へ送信	
		看護師	注射処方箋と注射処方箋(手書き)を薬剤部へ提出。		
3	薬剤部	薬剤師	注射処方箋と注射処方箋(手書き)を照合し、未提出や内容の誤りがあった場合は医師に連絡する。 修正が必要で、ロックが掛かっている場合は解除する。		
	処置室	医師	オーダ入力に誤りがあった場合は修正し、医事課に連絡する。	注射オーダ修正 注射処方箋を再出力 →コストとして医事へ送信	
4	当日以降				
	薬剤部	薬剤師	注射処方箋(複写控え)を確認し、補充作業を行う。	薬剤部から持ち出しが無かった場合はオーダ出力の注射処方箋で確認しても良い。	
5	医事課	医事課職員	会計情報確認。	オーダからのコストを受信	

注射業務運用フロー
8.入院注射(麻薬注射)



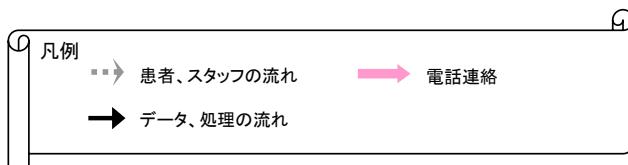
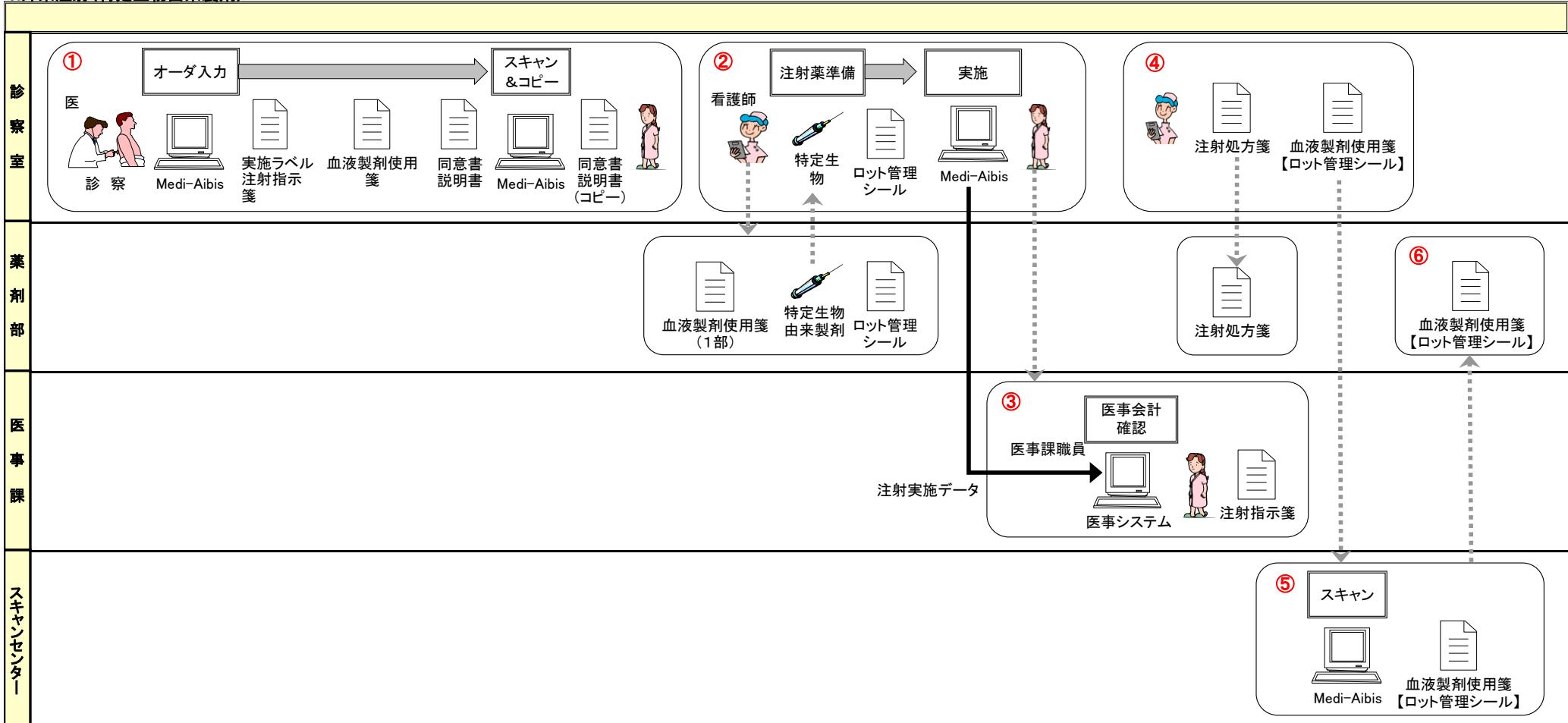
凡例
 → 患者、スタッフの流れ
 → データ、処理の流れ
 → 電話連絡

8.入院注射(麻薬注射)

No.	日時・場所	対象者	アクション	システムの機能	備考
1	病棟	医師	注射オーダ入力。 看護師長へ指示。	注射オーダ発行 注射指示箋、麻薬施用票 を出力 →注射連携システムへ送信	
2	薬剤部	薬剤師	オーダ内容確認。 →内容に問題がある場合は医師へ連絡する。 注射連携システムで入院注射を取り込む。	医師が対応不可能な場合は、医師に確認した上で薬剤師がオーダの修正を行う。 麻薬の内容が変わった場合は再度、医師の印鑑が必要。	
			注射薬準備。 準備が完了したことを病棟へ伝える。		準備した薬剤に実施ラベルと注射処方箋(控え)を一緒にする。
3	病棟	看護師	麻薬請求書を持って薬剤部へ行き、 注射薬、実施ラベル、注射処方箋(控え)を薬剤師より受け取る。 麻薬請求書(複写控え)を薬剤部に提出する。 注射薬確認及び実施準備。		薬剤部より搬送した注射薬を実施ラベル及び注射処方箋(控え)で確認する。
			注射実施。	リストバンド、実施ラベル、ユーザカードを元に3点認証 →コストとして医事へ送信	
4	病棟	看護師	麻薬施用票、麻薬請求書を空アンプルと共に薬剤部へ提出。		麻薬請求書(複写控え)は既に提出済みなので、複写用紙の1枚目を提出する。
5	医事課	医事課職員	会計情報確認。	オーダからのコストを受信	

注射業務運用フロー

9.外来注射(特定生物由来製剤)

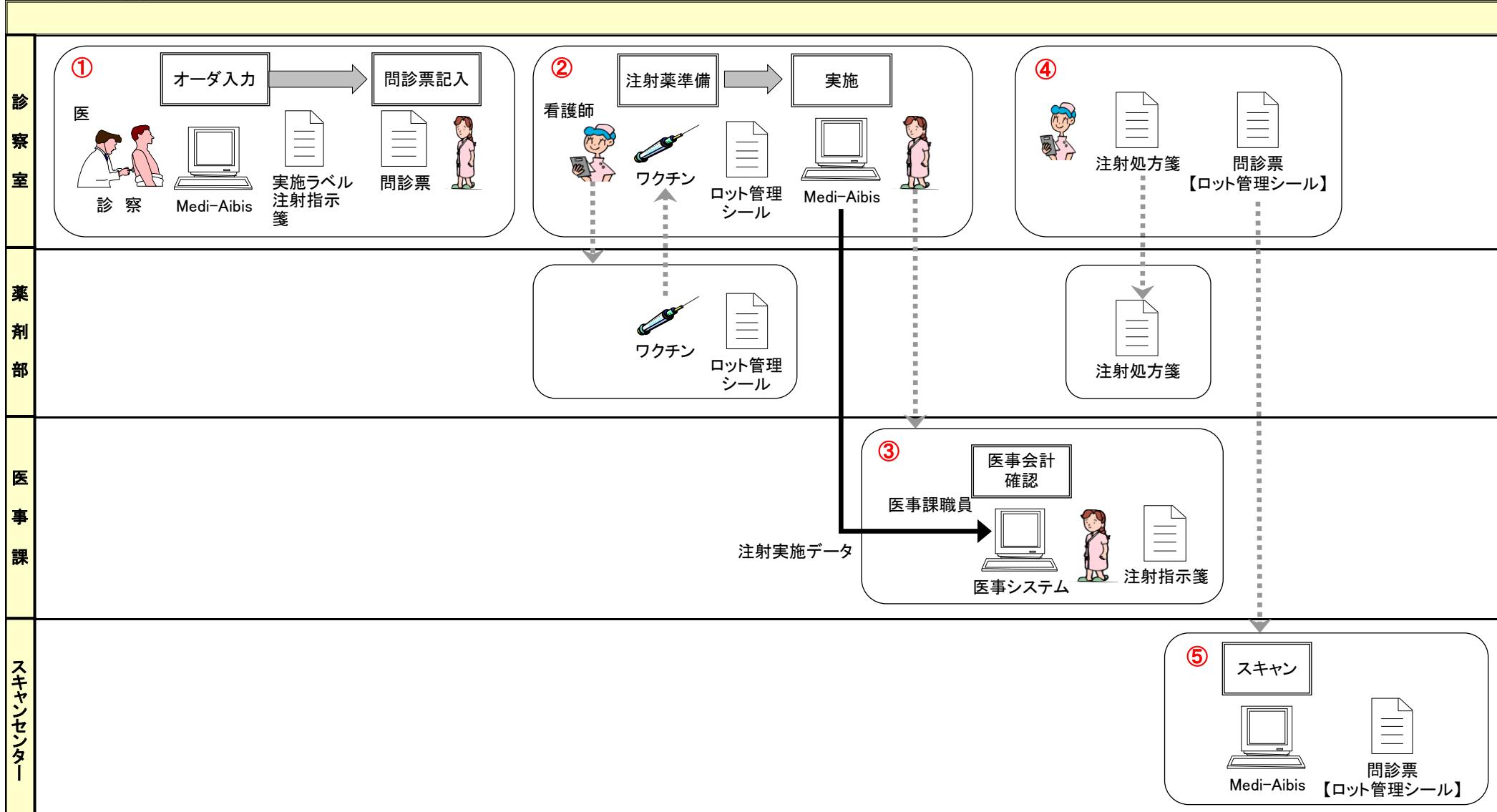


9. 外来注射(特定生物由来製剤)

No.	日時・場所	対象者	アクション	システムの機能	備考
1	当日				
	診察室	医師	注射オーダ入力。 ※特定生物由来製剤のみ入力。	注射オーダ発行 実施ラベル、注射指示箋、 注射処方箋を出力	
			文書作成オーダ入力。	血液製剤使用箋(2部)、 同意書・説明書を出力	
			同意書に患者のサインをもらったら、 その場でスキャンする。	スキャン機能による取り込み、 スキャンした帳票のコピー	
			スキャンと同時にコピーし、それを控え として説明書と共に患者に渡す。		
2	処置室	看護師	血液製剤使用箋を持って薬剤部へ 注射薬を取りに行く。 血液製剤使用箋は、2部ある内の1部 を薬剤部に置いていく。		
	薬剤部	薬剤師	特定生物由来製剤を払い出し、 ロット管理シールを看護師へ渡す。		
	処置室	看護師	特定生物由来製剤を準備し、3点認証 にて注射の実施を行う。	患者ID、実施ラベル、 実施者情報を元に3点認証	外来患者はリストバンドがないため 注射指示箋などにある患者バーコード →コストとして医事へ送信
			血液製剤使用箋に必要事項を記入 し、ロット管理シールを貼付する。		で行う。
		患者	注射指示箋が入った会計ファイル を受け取り、会計へ。		
3	医事課	医事課職員	会計情報確認。	オーダからのコストを受信	
4	診察室	看護師	注射処方箋を薬剤部へ提出。 血液製剤使用箋(ロット管理シール付) をスキャンセンターへ提出。		
5	当日以降				
	スキャンセンター	スキャン担当者	血液製剤使用箋(ロット管理シール付) をスキャンする。	スキャン機能による取り込み	
			スキャン済みの血液製剤使用箋(ロット 管理シール付)を薬剤部へ提出。		
6	当日以降				
	薬剤部	薬剤師	血液製剤使用箋(ロット管理シール付) を原本管理する。		ロット管理シールを貼っていない方は 破棄する。

注射業務運用フロー

10. 外来注射(各種ワクチン)



○ 凡例

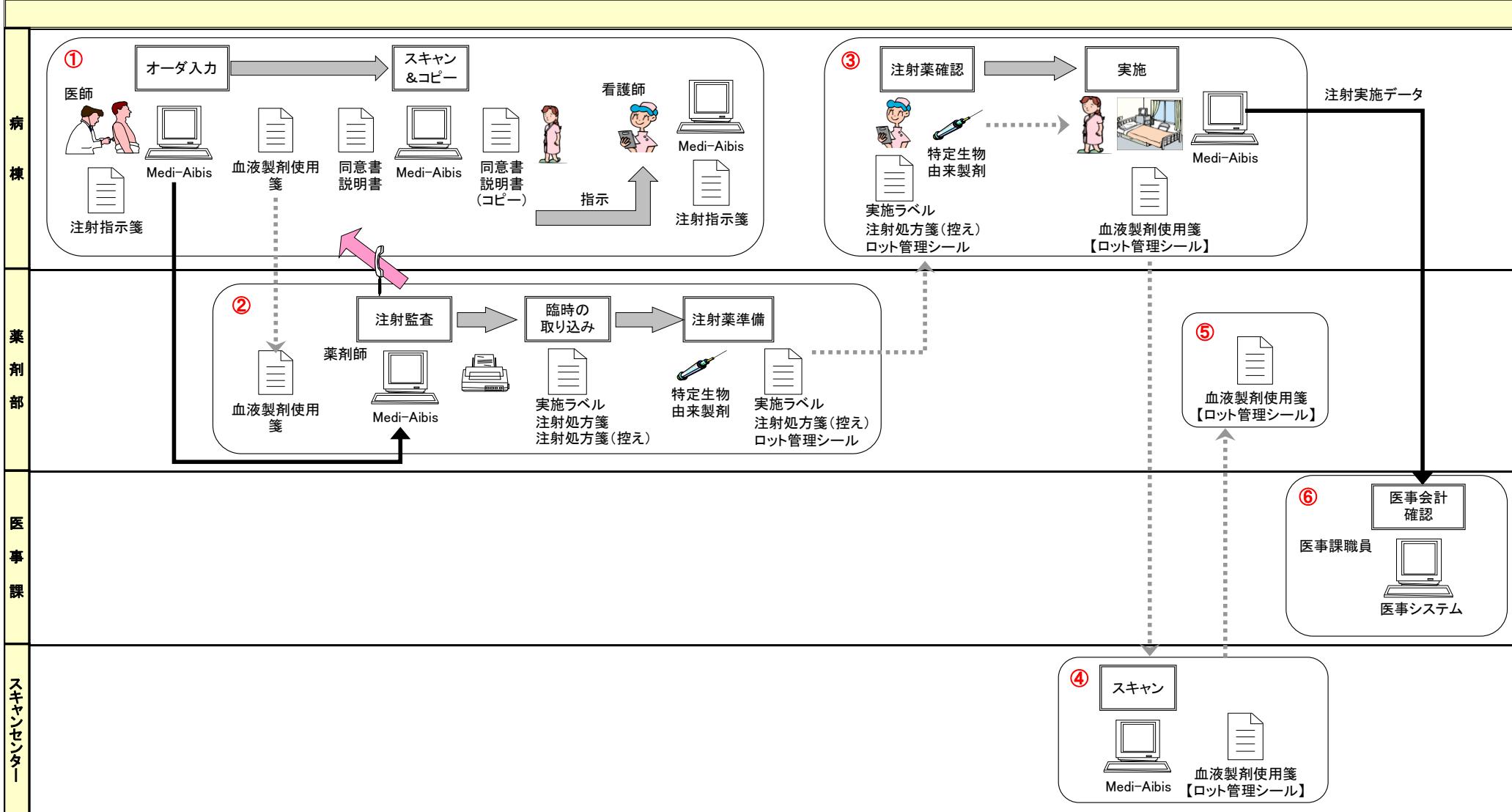
- 患者、スタッフの流れ
- 電話連絡
- データ、処理の流れ

10.外来注射(各種ワクチン)

No.	日時・場所	対象者	アクション	システムの機能	備考
1	当日 診察室	医師	注射オーダ入力。 ※各種ワクチンのみ入力。	注射オーダ発行 実施ラベル、注射指示箋、 注射処方箋を出力	
			文書作成オーダ入力。	問診票を出力	
			患者に問診票を記入してもらう。		
2	処置室	看護師	注射処方箋を持って薬剤部へ注射薬 を取りに行く。		
	薬剤部	薬剤師	ワクチンを払い出し、ロット管理シール を看護師へ渡す。		
	処置室	看護師	ワクチンを準備し、3点認証にて注射 の実施を行う。	患者ID、実施ラベル、 実施者情報を元に3点認証 →コストとして医事へ送信	外来患者はリストバンドがないため 注射指示箋などにある患者バーコード で行う。
			問診票に必要事項を記入し、ロット管理 シールを貼付する。		
		患者	注射指示箋が入った会計ファイル を受け取り、会計へ。		
3	医事課	医事課職員	会計情報確認。	オーダからのコストを受信	
4	診察室	看護師	注射処方箋を薬剤部へ提出。 問診票(ロット管理シール付)をスキャン センターへ提出。		
5	当日以降 スキャンセンター	スキャン担当者	問診票(ロット管理シール付)をスキャン する。	スキャン機能による取り込み	問診票(ロット管理シール付)の原本は ここで保管する。

注射業務運用フロー

11.入院注射(特定生物由来製剤)



凡例

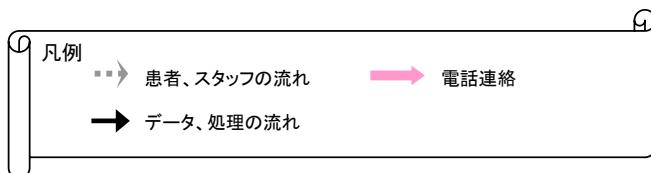
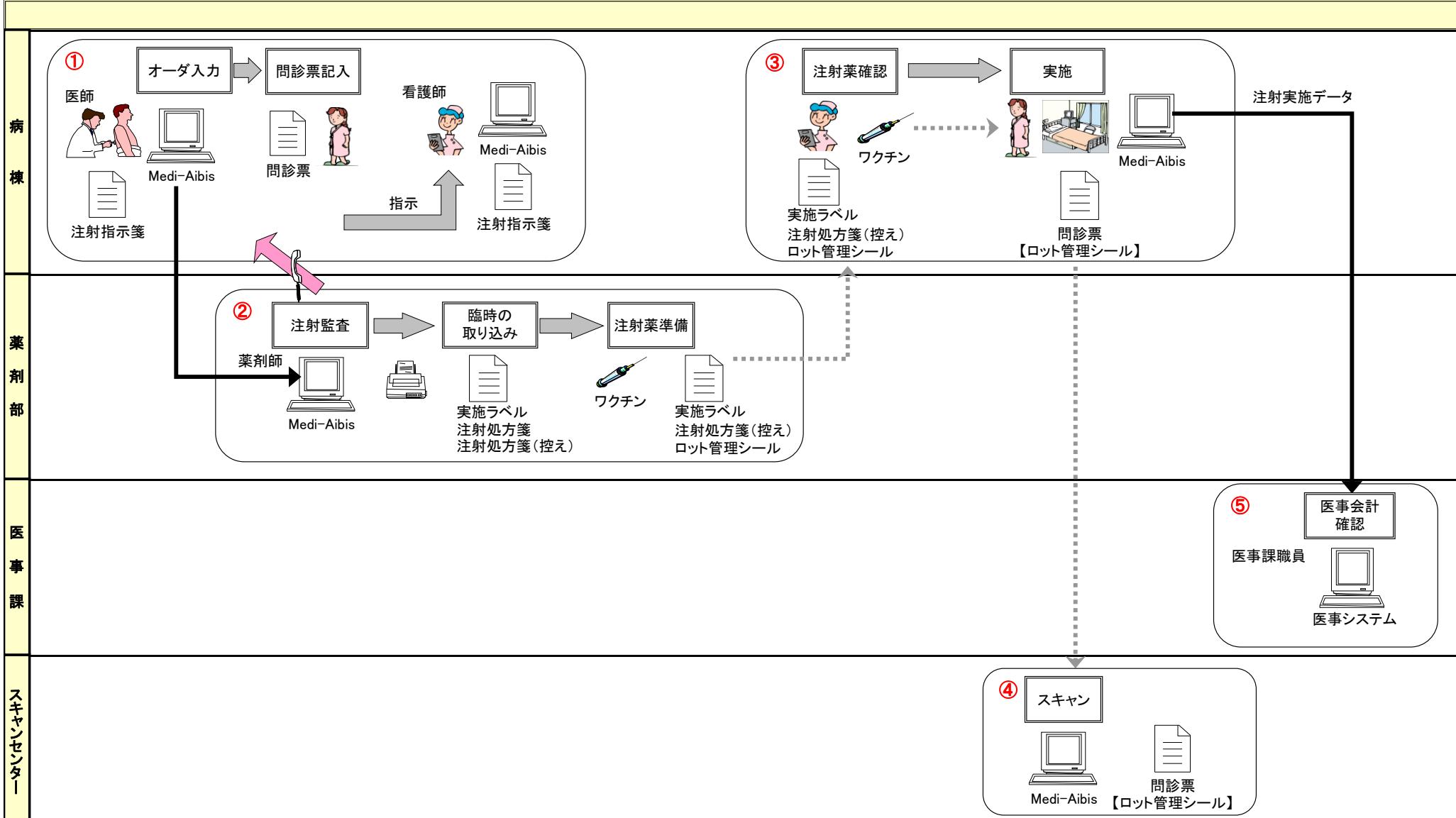
- 患者、スタッフの流れ (Patient and Staff Flow): Indicated by a dashed arrow.
- 電話連絡 (Telephone Contact): Indicated by a pink arrow.
- データ、処理の流れ (Data and Processing Flow): Indicated by a solid arrow.

11.入院注射(特定生物由来製剤)

No.	日時・場所	対象者	アクション	システムの機能	備考
1	病棟	医師	注射オーダ入力。 ※特定生物由来製剤のみ入力。	注射オーダ発行 注射指示箋を出力 →注射連携システムへ送信	
			文書作成オーダ入力。	血液製剤使用箋(2部)、 同意書・説明書を出力	
			同意書に患者のサインをもらったら、 その場でスキャンする。 スキャンと同時にコピーし、それを控え として説明書と共に患者に渡す。	スキャン機能による取り込み、 スキャンした帳票のコピー	
			看護師へ指示。		
		看護師	血液製剤使用箋の2部ある内の1部を 薬剤部へ提出。		
2	薬剤部	薬剤師	オーダ内容と血液製剤使用箋の内容 を確認。 →内容に問題がある場合は医師へ 連絡する。		医師が対応不可能な場合は、医師に 確認した上で薬剤師がオーダの修正を行 う。
			注射連携システムで入院注射を 取り込む。	実施ラベル、注射処方箋、 注射処方箋(控え)を出力	
			注射薬準備。		準備した薬剤に実施ラベルと 注射処方箋(控え)を一緒にする。
3	病棟	看護師	注射薬確認及び実施準備。		薬剤部より搬送した注射薬を実施ラベル 及び注射処方箋(控え)で確認する。
			注射実施。	リストバンド、実施ラベル、 ユーザカードを元に3点認証 →コストとして医事へ送信	未実施及び中止分は薬剤部へ返却する。
			血液製剤使用箋に必要事項を記入 し、ロット管理シールを貼付する。		
			血液製剤使用箋(ロット管理シール付) をスキャンセンターへ提出。		
4	当日以降	スキャンセンター	スキャン担当者	血液製剤使用箋(ロット管理シール付) をスキャンする。	スキャン機能による取り込み
			スキャン済みの血液製剤使用箋(ロット 管理シール付)を薬剤部へ提出。		
5	当日以降	薬剤部	薬剤師	血液製剤使用箋(ロット管理シール付) を原本管理する。	ロット管理シールを貼っていない方は 破棄する。
6	医事課	医事課職員	会計情報確認。	オーダからのコストを受信	

注射業務運用フロー

12.入院注射(各種ワクチン)

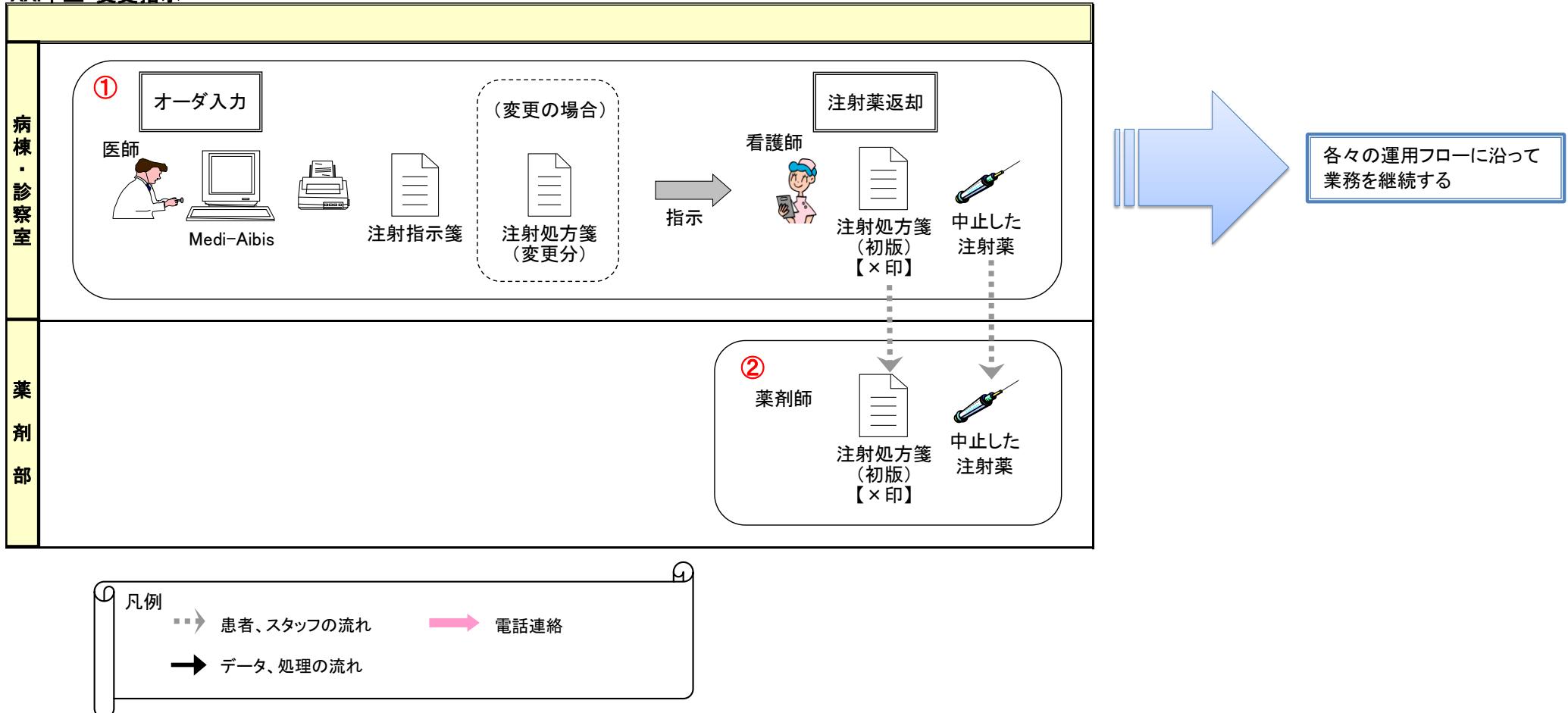


12.入院注射(各種ワクチン)

No.	日時・場所	対象者	アクション	システムの機能	備考
1	病棟	医師	注射オーダ入力。 ※各種ワクチンのみ入力。	注射オーダ発行 注射指示箋を出力 →注射連携システムへ送信	
			文書作成オーダ入力。	問診票を出力	
			患者に問診票を記入してもらう。		
			看護師へ指示。		
2	薬剤部	薬剤師	オーダ内容確認。 →内容に問題がある場合は医師へ連絡する。		医師が対応不可能な場合は、医師に確認した上で薬剤師がオーダの修正を行う。
			注射連携システムで入院注射を取り込む。	実施ラベル、注射処方箋、注射処方箋(控え)を出力	
			注射薬準備。		準備した薬剤に実施ラベルと注射処方箋(控え)を一緒にする。
3	病棟	看護師	注射薬確認及び実施準備。		薬剤部より搬送した注射薬を実施ラベル及び注射処方箋(控え)で確認する。
			注射実施。	リストバンド、実施ラベル、ユーザカードを元に3点認証 →コストとして医事へ送信	未実施及び中止分は薬剤部へ返却する。
			問診票に必要事項を記入し、ロット管理シールを貼付する。		
			問診票(ロット管理シール付)をスキャンセンターへ提出。		
4	当日以降	スキャンセンター	スキャン担当者	問診票(ロット管理シール付)をスキャンする。	スキャン機能による取り込み 問診票(ロット管理シール付)の原本はここで保管する。
5	医事課	医事課職員	会計情報確認。	オーダからのコストを受信	

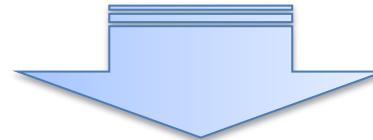
注射業務運用フロー

XX.中止・変更指示



XX.中止・変更指示

No.	日時・場所	対象者	アクション	システムの機能	備考
1	病棟・診察室	医師	注射オーダ中止 or 変更入力。	注射オーダ発行 注射指示箋を出力 変更の場合は注射処方示箋 も出力	注射処方示箋には、変更や追加したRpのみが記載される。
			看護師へ指示。		
		看護師	最初のオーダ時に発行された方の 注射処方箋に記載された注射薬の中 から、中止・変更となったものに「×」 印を書き込み、注射薬と共に返却する。		配置薬を中止した場合は元の保管場所 に、薬剤部から持ち出した場合は薬剤部 に返却する。
2	薬剤部	薬剤師	返却された注射処方箋の「×」印と 注射薬を確認する。		



各々の運用フローに沿って
業務を継続する